



はじめまして

大森さま

おとうさん
朋幸さま
おかあさん
奈央子さま
赤ちゃん
悠生(ゆうせい)ちゃん
平成22年8月28日生
3,252g 男の子



妊娠初期から、つわりがひどく入院したり、臨月まではほぼ毎日お腹の張り止めの薬を服用していました。(妊娠生活はつらい思いをしました。)

子宮口が開き始めて約2週間。今日か明日かとずっと待ち続けていました。予定日より4日後、27時間の陣痛を乗り越えて最後は看護師でもある私の母と親子3代力を合わせて産まれてきてくれました。助産師の学生さんがずっとつきそってくれ、腰をさすってくれて、とても心強かったです。1人じゃないと教えてもらい、みんなで育てていかなくてはと思っています。

ともくん(夫)、悠生ありがとう。今は幸せいっぱいです♡♡♡

私の好きな風景



臨床研究棟屋上から患者さまや職員専用の駐車場を俯瞰すると、車がミニチュアカーのように見え、カラフルで色々な車種が白線の枠に沿って整然と並んでいる風景は、見ていて飽きない。
(撮影:中谷 渉)

編集後記

記録的な猛暑だった今年の夏も、朝夕に、また日の短さに季節の移り変わりを感じるようになりました。この夏の酷暑にもかかわらず夏バテをしなかった体に感謝したいものです。また、秋を迎えるにあたり肥満解消に一念発起。そこで、皆さまにお願いがあります。「おっ、少し変わったね。」と変化の量より変化したということ言葉を実感したいのです。そのためにも皆さま、くれぐれも「ささやかな変化」をお見逃ししないように。

風端 英樹

院内にご意見箱を設置しております。みなさまの「声」をお聞かせください。



病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望される時は、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

モットー いつでも 誰でも 安心してかけられる病院

あなたに贈る健康へのメッセージ—— 知ってください病院のこと、身体のこと

医科大どおり

2010
秋
第16巻
第3号

医科大どおり

【秋号】2010 季刊誌第16巻第3号 発行/金沢医科大学病院

編集/金沢医科大学病院二コース編集委員会



サンセットブリッジ内灘(イメージ)



金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

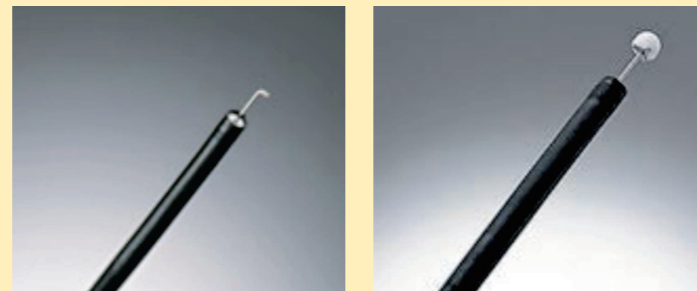
最新
Topics

先進医療としての 大腸腫瘍に対する 内視鏡的粘膜下層剥離術



内視鏡科
教授 伊藤 透

大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が、本年8月1日、厚生労働省から承認を受け、当院でも先進医療として行われるようになりました。従来より内視鏡的治療として、高周波スネア(ループ状の金属製ワイヤ)を用いた内視鏡的粘膜切除術(EMR)が行われていましたが、この方法だと、2cm以上の大きな病変では分割切除となり、病理診断が困難となったり、再発したり、結果的に外科的切除を行うことになったりと、様々な問題点がありました。



フックナイフ

ITナイフ

図1: 内視鏡治療に用いるデバイス

ESDでは、①病変周囲にマーキングを行ったのち、②粘膜下層にヒアルロン酸や生理食塩水を局注し病変を持ち上げ、③フックナイフで粘膜を全周性に切開、④フックナイフやITナイフで粘膜下層を剥離し病変を摘出するため、スネアがかからないような大きな病変でも一括で切除可能となります。

ESDの手法は、すでに胃や食道の病変では多数行われておりますが、大腸は壁が薄く、屈曲やひだがあるため、危険性が高く、あまり一般的には行われていないのが現状です。しかし大腸ESDの安全性が確保されれば、身体に負担の少ない治療が可能となり、入院期間の短縮、肉体的・精神的負担の軽減、QOL(Quality of Life; 生活の質)の向上が期待されます。そのため、すでに大腸ESDの実績のある施設が共同で行う多施設共同研究が充足し、当院も参画しております。

先進医療としての費用として約13万円が自己負担となりますが、入院期間は10日程で外科手術と比べ1/2から1/3程度で済むため、医療費の負担は軽減されます。

大腸腫瘍は自覚症状に乏しく、人間ドックや検診での便潜血検査後の内視鏡検査で見つかることが多い病気で、しかし早期に発見されれば内視鏡での治療も可能であり、定期検診を受けることを心掛けてください。ご質問やご相談がありましたら、内視鏡科スタッフまでお問い合わせください。



図2: 大腸粘膜下層剥離術(ESD)



【記】内視鏡科
講師 北方 秀一

部位別がんの克服シリーズ③

子宮体癌



産科婦人科
教授 牧野田 知

1 子宮体癌とは

子宮の癌には子宮頸癌と子宮体癌があり、子宮体部の内側にある子宮内膜から発生する癌が子宮体癌です(図1)。子宮体癌の発症は40歳代後半から増加し、50歳代から60歳代がピークとされています。食の欧米化等の生活環境の変化により、子宮体癌の罹患数は年々増加している状態です(表1)。

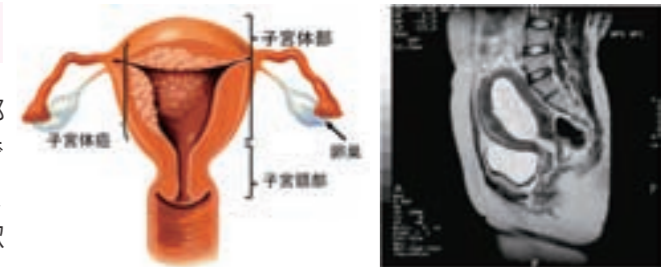


図1: 子宮体癌の画像

MRI T2 強調画像(子宮体癌)

2 子宮体癌の治療

子宮体癌の治療法には手術療法、化学療法、ホルモン療法等がありますが主に手術療法が中心となります。表2は金沢医科大学病院産科婦人科の過去10年間における子宮体癌の治療成績を示したものです。病期Ⅰ・Ⅱ期とは癌の広がりが子宮のみにとどまっている状態です。病期Ⅰ・Ⅱ期で標準治療を完遂することができれば、5年生存率は100%であり完治できることを意味します。病期Ⅲ・Ⅳ期とは子宮の外に癌がひろがった状態であり、5年生存率はⅠ・Ⅱ期に比べると格段に低下します。つまり子宮体癌の治療効果は早めに早期の段階で発見し標準治療の手術をすることが重要となります。そこで子宮内膜細胞診が子宮体癌の早期発見の鍵となります。

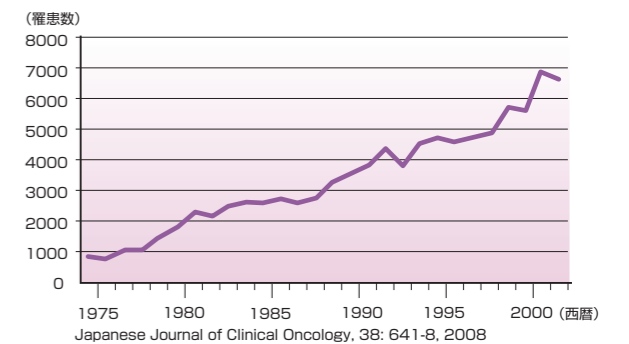


表1: 子宮体癌推定罹患数

病期	生存率
Ⅰ期	100%
Ⅱ期	100%
Ⅲ期	52.50%
Ⅳ期	16.70%

表2: Kaplan Meier 法による子宮体癌の5年生存率調査期間 1998~2008年

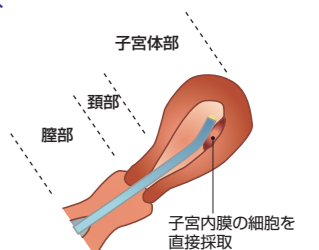


図2: 子宮内膜細胞診

3 子宮内膜細胞診

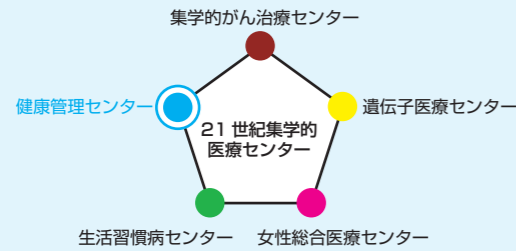
子宮内膜細胞診は棒状の専用器具を子宮の奥まで挿入し直接臓器から細胞を採取する検査です(図2)。患部の細胞を直接採取する検査であるため、癌検査の中でも診断効率のよい検査です。一般にがんは症状が出てからでは遅いといわれますが、子宮体癌の場合は症状が出てからでも診断が初期であることが多々あります。それはどうしてかという袋状の形態をした子宮の内腔は狭いため、内膜に腫瘍ができると早くから性器出血を認めるからです。褐色のおりものや下着の汚れ等で褐色の不正出血を認めた場合、直ちに産科婦人科を受診して子宮内膜細胞診を検査することによって子宮体癌をⅠ期やⅡ期で早期発見することができ、結果として早期治療、いい予後につながります。性器出血があった場合に直ちに産科婦人科を受診することが子宮体癌から身を守る一番の方法です。



【記】産科婦人科
講師 早稲田 智夫

21世紀集学的医療センター特集 3

健康管理センター



健康管理センター
センター長 高瀬 修二郎

健康診断は健診とも呼ばれ、問診、診察および各種検査などで健康状態を評価し、健康の維持や疾患の予防・早期発見に役立てるものです。一方、特定の疾患を発見する目的で実施されるものは検診と呼ばれ、がん検診や肝炎ウイルス検診などがあります。さらに、健診には学校や職場で実施が義務付けられているものと、受診者の意思で任意に行われる場合とに分かれます。後者の中で、疾患の早期発見を目的に全身的に詳細な検査を行う場合、船舶のオーバーホール施設になぞらえて人間ドックと呼ばれています。

最近では人間ドックを受診した人のうち何らかの「異常あり」の人は9割を超え、高コレステロール、肥満、肝機能異常などの項目で異常が高率となっています。発見されたがんの内訳では、胃がんが最も高率で、次いで大腸がん、肺がんが続いています。このように、人間ドックを受診することで頻度の高い疾患を絞り込み、早期発見を治療に繋げていくとともに、生活習慣を改善して病気の予防を積極的に行うことが重要となってきました。

そこで、健康管理センターでは、以下の人間ドックコースを設定し、メタボリック症候群を中心とした糖尿病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病や諸臓器のがんをいち早く発見する検査を行うと共に、精密検査が必要になった場合、当院各専門診療科において必要な検査を受けることができます。また、保健師・管理栄養士による食生活や飲酒習慣についての指導や、禁煙や運動習慣形成へのアドバイスなど、皆様のライフスタイルがより良くなるようお手伝いをさせていただいております。さらに、定期的に受診していただくことで、データを蓄積し、皆様の生涯の健康管理を継続的に行うことをめざしています。

- 1 日帰り人間ドック
- 2 1日脳ドック
- 3 宿泊人間ドック【1泊2日コース】【2泊3日コース】

オプション検査

脳ドック、骨ドック、その他(ご希望の検査はご相談ください)



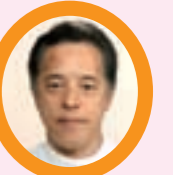
【記】健康管理センター
特任教授 川原 弘



私の健康法を紹介します

私の健康法①

泌尿器科 教授 田中 達朗



私は熱しやすく冷めやすい性格。15年前に減量と健康を考えて始めたサイクリングも熱心になりすぎ、全国のアマチュアサイクリングレースを探しては出場するようになりました。結果、練習の厳しさと時間の制約でだいに熱が冷めてしまいました。結局リバウンドで体重は増え続け、改めて対策を考えることに。そこで始めたのは、体重の記録です。毎日の記録をつけることで、多少なりとも間食の量を減らすなどの自己コントロールができるようになりました。ジムで週1回程度の軽い運動をするような習慣もつき、最近では安定した体重となっています。ただ、大好きなアルコールの量は減らないものです。これも飲んだ量を記録することで何とか反省し節酒に努力しています。最近晩酌の量が多くなっているなあ。今日は休肝日としよう。



私の健康法②

薬剤部 部長 西尾 浩次



健康には体の健康と、心の健康の2つがあると考えています。体の健康法は、ゴルフが低価格でラウンドできるようになってきたので、足腰と体のバランスを鍛えるために月1回程度ラウンドをしています(月1回程度では鍛えていることにはならないのかな?)。その際、脱水症にならないようにスポーツドリンクをハーフラウンド毎に500ml程度摂取するように心がけています。スポーツドリンクには沢山の種類がありますので、その中から吸収の良いものを選びようとしています。今年は、大変暑い日が続いたため新聞報道では「沢山の方が脱水症になられた。」との記事が掲載されていました。脱水症にならずにスポーツを楽しむためには、吸収の良いスポーツドリンクを早めに飲むことが大切です。一方、心の健康のために、休日に半日程度喫茶店でコーヒーを飲み、小説を読みながらゆったりとした時間をすごしています。以前は、司馬遼太郎氏の時代物などをよく読んでいましたが、最近では、城山三郎氏、高杉良氏、江上剛氏などの現代ものをよく読みます。心が落ち着き、明日からの意欲が出てくるように感じています。

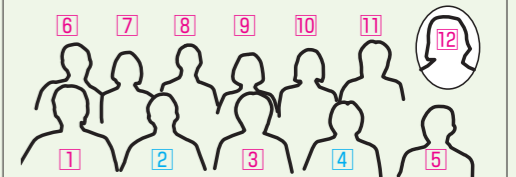


お知らせ

専門看護師・認定看護師の紹介



- 後列左から、
- 6 [救急看護] 中町 とし美
 - 7 [がん性疼痛看護] 道淵 路子
 - 8 [感染管理] 不動 政代
 - 9 [皮膚・排泄ケア] 中村 徳子
 - 10 [摂食・嚥下障害看護] 小利池 澄子
 - 11 [皮膚・排泄ケア] 香谷 泉
 - 12 [救急看護] 石坂 祐子



- 前列左から、
- 1 [救急看護] 村田 好生
 - 2 [がん看護] 我妻 孝則
 - 3 [集中ケア] 山下 敬吾
 - 4 [老人看護] 直井 千津子
 - 5 [糖尿病] 北出 優華子

※□専門看護師 □認定看護師

(記：ハートセンター 看護師 山下 敬吾)

高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの複雑化に対する対応と看護の質向上を目的に、専門看護師・認定看護師が制度化されました。専門看護師は、複雑で解決困難な看護問題を持つ患者さまやご家族に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供します。また、認定看護師は、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護を実践しています。

私どもはスタッフからの相談を受けたり、人工呼吸器の講習会を行うなど、患者さまへのよりよいケアの提供を目指して自己研鑽に努めております。

感染症特集③

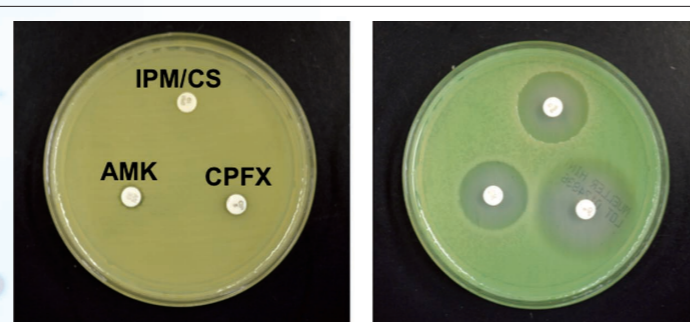
話題の薬剤耐性菌について

薬剤耐性菌とは、抗菌薬が効かなくなった病原菌であり、特に多種類の抗菌薬に耐性を示す多剤耐性菌が問題となります。たとえば、1種類の抗菌薬が効かなくなったとしても、他の種類の薬剤を用いれば治療が可能ですが、多種類の薬剤に耐性化してしまうと、場合によっては治療できる薬剤が全くないという状況となる場合もあるからです。

最近話題になっている、多剤耐性アシネトバクター (MDRAB)とNDM-1産生菌は、これらの菌に最も有効とされるカルバペネム系抗菌薬が効かなくなってしまうと同時にほとんどの種類の抗菌薬に耐性化を示す多剤耐性菌であり、さらに院内感染を起こすことが問題となっています。

■多剤耐性アシネトバクター (MDRAB)

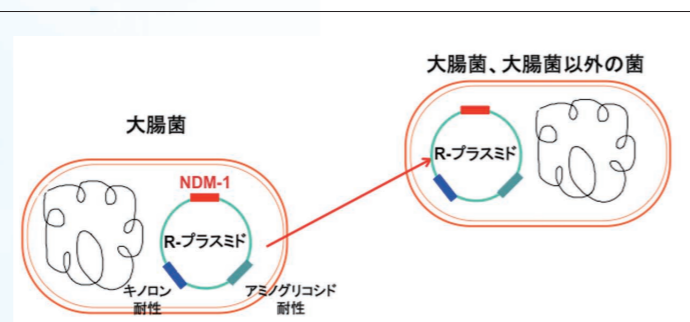
アシネトバクターは、環境に生息する菌で弱毒性のため健康人には無害ですが、免疫力が低下した場合、感染症を起こすことがあります。主な感染症は、肺炎や尿路感染ですが、時に敗血症を起こします。この菌は、**OXA型β-ラクタマーゼ**という強力な抗菌薬を分解する酵素(タンパク質の一種)を作り出すために、カルバペネムが効かなくなります。同時に、キノロン、アミノグリコシドという通常は有効な抗菌薬にも耐性となり、多剤耐性となります。米国では、アシネトバクターの60%が多剤耐性と報告されていますが、わが国では比較的稀です。しかし、この1~2年の間に複数の病院で院内感染が報告されており、今後国内でも広がる危険が高いと考えられます。この菌は乾燥した環境でも長期間生存するため、院内感染を起こしやすいとされており、この菌が検出された場合には、周囲に広げないために厳重な隔離予防策が必要となります。



多剤耐性菌
カルバペネム (IPM/CS)、キノロン (CPF)、アミノグリコシド (AMK) の3系統の抗菌薬が効かなくなった菌を多剤耐性菌と呼ぶ (写真は多剤耐性緑膿菌: 左と感受性緑膿菌: 右)

■NDM-1産生菌

NDM-1とは**New Delhi Metalloβ-ラクタマーゼ 1型**の略であり、OXA同様カルバペネムを分解します。この酵素を産生する菌は腸内細菌(大腸菌、クレブシエラ属、など)であり、通常多剤耐性となります。この遺伝子は容易に伝播する性質(プラスミド性伝播)を持っているため、大腸菌同士、あるいは、大腸菌から他の菌種にも伝播します。この菌は主にインドやパキスタンで流行しており、美容手術などを目的とした先進国からの医療ツーリズムなどに伴い、世界中に拡がりつつあります。また大腸菌は元来ヒトの腸内の常在菌なので、知らない間に腸内に保菌されることも考えられます。先日わが国で初めてNDM-1産生菌が報告されましたが、この方もインド渡航歴および治療歴がありました。インドなどの流行地に旅行する場合には、手洗いをしっかり行う、生ものは食べないなど感染予防に十分気をつける必要があります。



NDM-1産生菌と耐性因子の伝播
NDM-1産生菌は薬剤耐性 (R) プラスミドと呼ばれる小遺伝子を持ち、ここには多剤耐性の原因となる遺伝子が存在する。このプラスミドが伝播することにより、容易に多剤耐性が拡がっていく。

(記: 感染症科 教授 飯沼 由嗣)

アンチエイジング⑦

健康情報のコーナーでは、アンチエイジング(老化防止)をテーマにシリーズで紹介しています。今回は、腸の老化防止など有益な働きをする微生物である乳酸菌についてお話をいたします。

■腸内環境の悪化が老化の原因!

人の腸内には100兆個もの腸内細菌が棲んでおり、人体に良い影響を与える善玉菌、有害物質をつくる悪玉菌、体が弱ると腸内で悪い働きをする日和見菌の三大勢力に分類されます。生まれただけの赤ちゃんは、善玉菌のビフィズス菌が約90%を占めますが、その後の成長につれてビフィズス菌は減少します。大人になると善玉菌2割、悪玉菌3割、日和見菌5割となり、さらに加齢に伴って悪玉菌が増えてきます。悪玉菌が増えると、有害物質によって腸の老化が一層進みます。また、腸内環境の悪化の原因は、不規則な生活や乱れた食生活、過度のストレスといわれています。

■腸の老化防止に役立つ乳酸菌とは?

腸内環境を整えて免疫力を高めるなど、人に有益な働きをする微生物が乳酸菌です。乳酸菌はオリゴ糖などを発酵させて乳酸をつくり出す菌種で、種類は200以上あります。ビフィズス菌も乳酸菌の一種です。また、自然界のあらゆる場所に存在し、発酵食品の製造にも使われます。さらに、乳酸菌を摂ることで腸内環境は改善し、腸の老化防止に繋がります。

■乳酸菌の働きとは?

乳酸菌には以下のような働きがあります。

- 便秘予防
- 肌のトラブル解消
- 免疫力を高める
- 肝臓の負担の軽減……肝臓は悪玉菌が作る有害物質を無毒化するため、善玉菌が増えると肝臓の負担が減る。
- がん予防……発がん物質をつくりだす悪玉菌の繁殖を抑える。



■乳酸菌を多く含む食品とは?

腸内環境を整えるためには、規則正しく、栄養バランスのとれた食事を心がけ、乳酸菌を多く含む食品を適度にとり入れることが大切です。乳酸菌を多く含む食品には、以下のようなものがあります。

- 【食品例】 ●ヨーグルト ●チーズ ●バター ●乳酸菌飲料 ●みそ
●しょうゆ ●ぬか漬 ●キムチ ●ザーサイ ●なれ鮎 など

※ただし、高血圧症や腎臓病で治療中の方は、塩分を多く含む漬物や、調味料のとり過ぎは控えましょう。

(記: 栄養部 管理栄養士 木村 律子)